



元気いっぱい、笑顔いっぱい、社会に出ることを心待ちにした児童がそろう学校

# 朝霞第二小だより



【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒351-0007 朝霞市岡3丁目16番13号 TEL048-461-0042  
令和5年 6月1日〈6月号〉 児童数 721名(5/25現在)

## 学ぶ→自分の世界が広がる→



## もっと学びたくなる→わくわくした毎日!

校長 みやこし たかこ 宮腰 高子

5月18～19日、6年生が日光へ修学旅行に行ってきました。元気に行ってこられたのも、保護者の皆様のご協力があったことです。有り難うございました。

校外学習は、家庭や学校に在ることを常とする児童が、外に出て社会を見て学ぶ絶好のチャンスです。今回も6年生に「社会を見よう」「色々な仕事に気付こう」と声を掛け、スタートしました。さすが二小の6年生、目を輝かせ、頷いたり歓声を上げたりしながら見学をしていました。

印象に残っているものの一つに、戦場ヶ原のハイキングがあります。ネイチャーガイドさんの話を聞きながらのハイキングです。私が同行したグループはミズナラの林の中で「くまだな(熊棚)」の説明を受けました。「くまだな」とは木の上の方にある大きな鳥の巣のような木の枝の積み重なりのことでした。実はあの高い場所で、熊が木の枝に付いた木の実を食べ、残った枝を積み重ねた後なのだそうです。その説明を聞いた後もハイキングは続きました。すると、児童が「あれもくまだな!結構あるなあ」とつぶやきました。ガイドさんにもこりとほほえみ「よく見つけたね。ここは『熊のフードコート』みたいな場所なんだ。」と説明を付け加えました。ただ歩いているだけでは気がつかないけれど、学びがあると見る視点が変わり、同じ世界が違って見えます。学びとはこういうものです。児童は、色々な事から刺激を受け、自分のものの見方、考え方を広げていきます。このような経験



【ハイキング 川の水に触れる】

を繰り返すことで、「あれは何だろう」「たぶん〇〇ではないかな」「もっとよく見てみよう」「調べてみよう」「誰かに伝えたいな」「…」と、わくわくした毎日になっていきます。



【日光東照宮に向かう】

今回の出来事は、修学旅行という特別な行事の中でのことでしたが、実は日常の授業の中でも児童につけさせるべき力として求められていることです。そして、生活の中のちょっとしたことでもそうです。例えば、「朝の支度で慌てないようにするにはどうしたら良いか」と、失敗をきっかけに考える。また、「洗濯物をバランス良く干すにはどの順番でどの位置に干せば良いか」と、お手伝いをしながら考えるなど、わくわくの種はあちらこちらに隠れています。ぜひ、学校と家庭とで手を取り合い、児童に良い刺激を与え、力を付ける支援をし、一人一人の子供たちが社会を見ること、社会に出ることを楽しみに出来るとうれしです。



6月よりプールでの授業が始まります。先日配付した「プールにおける授業のお知らせ(5月24日付)」を確認し、同意書の提出や水着等のご準備をお願いします。今年度はコロナ禍以前のように回数多く(8時間程度)授業を行います。プールでの授業に係る健康チェックは「Micro soft Forms」にて8時までに報告いただくことになっております。ご協力をお願いします。